



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で自分らしく生きていくためには、地域の人々と顔が見える関係を築き、お互いに支え合うことが大切です。人と人とのつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。今回は、九合地区で行われた「お宝発表会」の様子を紹介します。

九合地区

地域のお宝「ささえあい発表会」



「地域のお宝」
「ささえあい発表会」
について

発表会は令和6年11月28日に九合行政センターで行われました。

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには人と人とのつながりや、日常生活の中で何気なく行われているちよことした支え合い活動が重要です。そのような活動を住民の皆さまに知っていただき、つながり支え合いのあふれる地域づくりを進めていくために、発表会を開催しています。

当日は地元の方を中心に80名以上の来場者にお越しいただき、盛況のうちに終了することができました。



「お宝事例発表

お宝認定書授与」



九合地区のお宝 その①

農園を通じて地域とつながる「菜友会」

今から39年前に発足した「菜友会」は管理している農園で野菜作りに取り組んだり、「1%まちづくり事業」の補助金を利用して花植えや除草作業を行っています。また、「ぼかし」という肥料を皆さんで協力して作り、農園や花壇で使用しています。

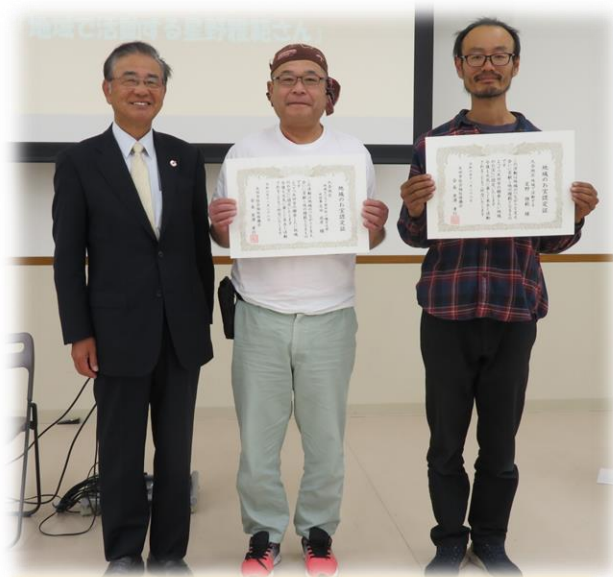
「菜友会」は野菜や土作り等の情報交換の場であり、会員さんの「居場所」にもなっています！



登壇してくれた「菜友会」会員の皆さん

九合地区のお宝 その②

「地域をつなぐ新井町八幡宮大祭」と「地域で活動する星野雅範さん」



登壇してくれた吉田成彦さん(中央)と星野雅範さん(右)

新井町八幡宮大祭は神社創設時から続く地域のお祭りです。今年も老若男女を問わず、地域住民の協力のもと、子供神輿や獅子舞奉納が行われ、地域に根付く伝統文化が大切に受け継がれました。発表会には、世話役として祭りを支えた吉田成彦さんをお迎えし、地域の絆についてお話をいただきました。

星野雅範さんは、地域の子ども達に田植え体験や戦争の悲惨さを伝える活動を通じて、普段なかなか触れることができない自然体験や地域の歴史を紹介しています。これらの体験を通じて、子ども達が地域の自然や歴史に関心を持つよう、積極的に取り組んでいます！



地域で活動することは心身の健康や生きがいにもつながります。登壇者が活動内容をいきいきと話す姿を見て来場者からも「私も地域でもっと頑張りたい」「元気をもらえた」という感想をいただき、地域の絆が深まった貴重な場となりました！

